

レポートの書き方 総論

レポート作成講座 第1回

2013年10月22日(火) 16:30-18:00

於 帝京大学メディアライブラリセンター

帝京大学総合教育センター

上岡 真紀子 mueoka@main.teikyo-u.ac.jp

レポートとはどんな文章か？

- × 感想文, (日本語でいう)エッセイ
思ったことを自由に書いてよい
「~と思う」など主観的に書かれる
- ⇔ レポートは, 学術的な文章
書き方にルールがある
主観的なものは歓迎されない

学術的な文章の要件

1. 「問い」に対する「答え」がある
2. 「論証」を行う 「論証」=根拠から結論を導くこと
 - 必ずなぜそう言えるのかの根拠を示す
 - 根拠は信頼できるものでなければならない
3. 「引用」と「出典」を明示する
 - 学問的倫理と著作権への配慮
 - 読者が検証・確認できるようにしておく

論文の執筆に必要な作業と習得すべき能力

1. 資料を集めて論点を整理する
2. そこから自分なりの課題を見つけ出す
3. 適切な資料を集める(自分の主張したいことの裏を取る, 根拠を集める)
4. 論証するための構成を練る
5. フォーマットに従って書く
⇒ 「問題を発見する」, 「批判的に読む」, 「批判的に考える」, 「論理的に考える」, 「問題を解決する」

チェックポイント

- ⇒ 「リサーチ力, 内容, 論理構成力, 文章力,
書式」で評価
- 適切で十分な情報(文献)収集
 - 妥当なテーマ設定(課題発見)
 - 構成と論理展開
 - 適切な文章表現
 - 正しい引用と参考文献の記載

論文とレポートとの違い

- 論文：
「問い」を自分で考える
- レポート：
「問い」が与えられたうえで、行うべき作業が指示される

レポート・論文の類型

（報告型）

- ① 読んで報告するタイプ
- ② 調べて報告するタイプ

（論証型）

- ③ 問いが与えられたうえで論じるタイプ
- ④ 問いを自分でたてて論じるタイプ

①読んで報告するタイプ

- 「～を読んで、～について述べなさい」
- 内容の要点を押さえてまとめる
- 個人の主張や意見は入る余地はない

例)

『ラーニング・コモンズ』の序章を読んで、その中から自分の興味のある文献を1件取り上げ、内容をまとめなさい。

②調べて報告するタイプ

- 「～について調べ，～について述べなさい」
- 事実の要点をまとめて報告する
- 個人的な意見や主張は入る余地はない

例) 国内の大学のラーニング・コモンズの事例を調べた上で，その課題を述べなさい。

③ 問いが与えられたうえで、 論じるタイプ

- 「～について意見を述べなさい」
- 「～についてあなたの考えを述べなさい」
- 予め、そのレポートで答えるべき「問い」があたえられ、その「問い」に対する、自分の意見を明確にして、なぜそう考えるのかの根拠をあげて、結論を導く
- 例) 消費税の導入についてあなたの意見を述べなさい
い
「安楽死」についてあなたの意見を述べなさい

④ 問いを自分で設定して、 論じるタイプ

- 「～について論じなさい」
- 「～について考察しなさい」
- 自分で与えられたテーマの中で「問い」を設定して、根拠を示しながら結論（「答え」）を導く

例)

- 「少年法について論じなさい」
- 「日本の家電業界の今後について考察しなさい」

引用の仕方

- 情報源に記載されている文章をそのままの形で使うかどうかで2通りの引用方法がある
- ① 元の文章をそのまま引用する
 - ② 自分の言葉に書き換えて引用する

引用の仕方①

元の文章をそのまま引用する

(本文)

それに対し加藤らは、「大学生の学習態度は、インターネットを基盤としたデジタル情報環境の影響を大きく受けていることを大学教員は実感している」²⁾と述べている。

引用文献

2) 加藤信哉 ; 小山憲司. ラーニング・コモンズ. 勁草書房, 2012, 290p.

引用の仕方①

元の文章をそのまま引用する

- 発言そのままを正確に伝える必要がある場合、印象的な表現をそのまま使いたい場合などに利用する
- 本文中の該当箇所に、一字一句、資料のとおり正確に記述する。
- 短い場合は「」でくくり、」のあとに引用のマーク(例では文献番号)を入れる。長い場合は前後を1行空けて、段落を変える。
- 引用文献リストでは、該当する文献番号の書誌事項を記載し、該当ページを示す。

引用の仕方②

自分の言葉に書き換えて引用する

(本文)

再生医学の旗手である岡野は、それまでの研究成果をまとめ、移植医療への応用が注目される神経幹細胞について基礎から課題までを解説している¹⁾。

引用文献

1) 岡野栄之. 神経幹細胞. 蛋白質・核酸・酵素. vol.45, no.13, 2000, p.2063-2077.

引用の仕方②

自分の言葉に書き換えて引用する

- 他者の発言そのものでなく、他者の考えやデータなどを自分の言葉で書く場合に用いる。先行研究を紹介する際などにも用いられる。
- 引用のマークは該当内容の記述の後に入れる。

出典の記載方法：図書

- 図書の場合

著者名．書名．版表示，出版者，出版年，ページ．

例) 照明学会編．照明ハンドブック．第2版，オーム社，
2003，573p.

- * 図書の場合、書誌事項は奥付を参照する。または、OPACのデータを参照してもOK
- * 著者は個人でなく団体名の場合もある。

出典の記載方法：雑誌記事

- 雑誌記事の場合

著者名．論文名．誌名．出版年，巻数，号数，はじめのページーおわりのページ．

例) 西潔, 石原和弘. 火山地域における震源計算についての提案. 火山. 2003, vol. 48, no. 5, p.407-413.

* 著者が複数の場合には、3名まではカンマで区切って記述する。4名以上の場合には、3名まで記述し、以下は「ほか」として省略する。

出典の記載方法：ウェブサイト

- ウェブサイトの場合

著者名. “ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称.
URL, (入手日付).

例)

厚生労働省. “次世代育成支援に関する当面の取組方針—少子化対策推進閣僚会議決定(平成15年3月14日)”. 厚生労働省.

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/syousika/0314-1.html>. (参照2012-11-06)